

上尾市産業振興ビジョン(案)の ポイント

第四回上尾市産業振興ビジョン策定委員会

H25.12.3

上尾市産業振興ビジョン策定委員会事務局

【本ビジョンの特徴】

- ◆「産業」を農業・商業・工業・観光を含めた、すべての産業分野を対象とする。
- ◆ビジョン実現に向けた推進体制の構築に重点を置く。
⇒(仮)産業振興会議の設置
- ◆産業振興に関わる主体の役割を示す。
⇒行政、産業関連団体、事業者、市民、産業支援機関
- ◆産業振興施策について、基本方針ごとに分類し、実施主体と大まかなスケジュールを示す。
- ◆本ビジョンに掲げていない産業振興施策等について、社会情勢や国の施策動向の変化により、検討・実施する必要がある場合には、「(仮)産業振興会議」での議論等をふまえ、柔軟に対応する。

【序 章】

- ◆ 策定の趣旨
- ◆ 「産業」の定義
- ◆ 市諸計画との関連と位置付けを示す

◆ 計画期間

- ⇒ 特に定めない(概ね10年間程度を見据えたものとする)
- ⇒ 社会経済環境等に著しい変化が生じた場合には、新たに策定する
- ⇒ 将来像や基本方針、目指すべき姿は不変のものとする

【第一章】 産業振興の意義と必要性

《社会環境の変化》

- ・人口減少・少子高齢化
- ・就業機会の減少
- ・市税収入の減少
- ・工業都市から住宅都市へ



産業振興のための
取り組み・支援

《今後求められること》

- ・若者や高齢者、女性などの雇用機会の創出
- ・地域経済の拡大
- ・産業と地域の共存共栄

【第二章】 産業構造の現状と課題

市の産業構造、農業、商業、工業、観光の**現状**(※各種統計、H24年度検討結果より)



《課題》 (※H24年度検討結果より)

全般: 自立した地域経済の構築、地域経済連携の強化、市内雇用・就業場所の創出、適切な土地利用の検討

農業: 担い手の育成、直売所のさらなる活用、農業の6次産業化、ブランド産品の開発

商業: 中心市街地の賑わい創出、商店街の地域への結びつきの強化、空き店舗活用、大型店と地域商業の共存共栄

工業: 中小企業の経営支援、交流支援、支援機関の利用促進

観光: イベント以外の観光資源発掘、イベントや施設の有効活用

【第三章】 将来像と基本方針

※前章の現状と課題をふまえ、上尾市産業がどうありたいか、どのような方針のもとに産業振興を行うかを示す。

産業における将来像(※5案を提示)



〓基本方針〓

①既存の産業のバージョンアップ

②新たな交流・連携の推進

③ブランド化の推進

[各産業の目指すべき姿]

農業

商業

工業

観光

【第四章】ビジョンの実現に向けて

※本ビジョンは、策定することではなく、実現させることを目的としているため、産業振興に関わる「主体」や産業振興の体制を最も重要なものと位置付け、本章で示す。

行政：情報提供や連携への支援、関係機関との連絡調整など

産業関連団体：事業者への働きかけや連携調整など

事業者：自らの事業発展努力、雇用の創出など

市民：産業振興の担い手(消費者・労働者)としての活動など

産業支援機関：事業者や行政との連携支援など

(仮)産業振興会議の設置

【第五章】 施策の体系と事業展開

◆基本方針に基づき、事業の整理を行うとともに、新規事業については、実施主体や実施時期(いずれも予定)を設定する。

①既存の産業のバージョンアップ

- 経営・技術支援
- 後継者の育成
- 起業・新規事業者支援
- 振興基盤の整備

②新たな交流・連携の推進

- 多様な交流・連携基盤の整備と強化
- 連携による新たな事業展開
- 市民・地域との交流・連携

③ブランド化の推進

- 新たな魅力や地域資源の発掘・開発
- 普及・ブランド化の推進

【第六章】 スタートアップ事業

※本ビジョン策定をふまえ、平成26年度から着手する事業を示す。
(平成26年度予算の状況により、事業が追加になる可能性もある。)

●産業振興推進事業

⇒(仮)産業振興会議の設置

●中小企業サポート事業

⇒(仮)中小企業コーディネーターの配置

●農商工観ポータルサイト構築事業

⇒市内事業者の情報を集約・提供、地域コミュニティとの連携(SNSの活用などによる)

●体験農園推進事業

⇒新たな農業経営モデルの構築

【むすびに】

※本ビジョンを総括し、本ビジョンには項目を設けていないものの、今後の課題（予想される変化）を示す。

- ◆海外市場への進出に対する取り組み
- ◆製（産）品の高付加価値化
- ◆エネルギー・環境関連
- ◆医療・福祉などの新産業（分野）進出の支援
- ◆コミュニティビジネスへの支援

など